可決された案件（要旨）

◎:全員賛成　▽:賛成多数

◎福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国は緊急少子化対策として出産に係る被保険者等の経済的負担を軽減し、安心して出産できるよう、出産育児一時金の支給額を平成21年10月1日から平成23年3月31日まで、暫定措置として4万円引き上げの健康保険法施行令を一部改正をしたことに伴い、国民健康保険被保険者の出産育児一時金を1件当たり4万円加算し、39万円としようとする規定改正をするもの。

◎平成21年度福生市一般会計補正予算（第2号）

今回の補正は、国の平成21年度第1次補正予算、「経済危機対策」に伴う歳入歳出予算の追加とその他、額の確定による補正をするもの。

歳入は、国庫支出金では所得減少等による受給者増に伴う児童扶養手当負担金の追加、経済危機対策に伴い地方公共団体への配慮として地域活性化・経済危機対策臨時交付金1億6267万余円の追加、子育て応援特別手当（平成21年度版）、女性特有のがん検診推進事業補助金の追加。都支出金では緊急雇用創出事業臨時特例補助金、地球温暖化対策等推進区市町村補助金の追加。寄附金は5人からによる追加。繰入金は国民健康保険他2特別会計事業の額の確定に伴う精算分追加。繰越金2億5624万余円は前年度繰越金の追加。諸収入では生活保護費都負担金の額の確定に伴う過年度収入の追加、草花苗生産委託料充当のコミュニティー助成事業助成金の追加、環境対応車購入3台分に対する環境対応車普及促進対策費補助金の追加。

歳出は、環境対応車の購入並びに福東会館の机等の備品購入費の追加。市民税等の申告会場等整理案内業務委託料の追加。民生費1億316万余円は出産育児一時金の4万円引き上げに伴う追加、DV被害者特例給付金給付事業費の追加、景気低迷に伴い住宅を喪失した離職者等への住宅及び就労機会確保等支援を行う住宅手当緊急特別措置事業費の追加等。衛生費5177万余円では、無料クーポン券で実施する女性特有のがん検診推進事業費追加、新型インフルエンザ蔓延期対処の防護服等感染症予防費並びに航空機騒音測定装置、リサイクルセンター太陽光発電設備設置事業費の追加。やなぎ通り、国道16号線にプランター、ヤシの木等を設置する緑化推進費の追加。商工費6463万余円では七夕まつり設備改良工事、商店街振興キャンペーン配布委託料の追加、中小企業振興資金利子補給金及び信用保証協会保証料の追加。土木費5787万余円では道路照明灯改良工事費の追加等。教育費4808万余円は、音楽のまちづくり楽器購入、中央体育館防犯カメラ設置工事、ふっさっ子の広場空調設備改良工事及び地域会館の机・いす等購入、理科教育設備備品購入費等追加で、歳入歳出それぞれ6億40万9千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ209億7049万7千円と定めようとするもの。

◎平成21年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入では、療養給付費等負担金の平成20年度確定に伴う追加、高額療養費特別支給金、出産育児一時金への補助金と一般会計からの繰入金、平成20年度国民健康保険特別会計からの繰越金並びに介護従事者処遇改善臨時特例交付金の追加。歳出では緊急少子化対策による出産育児一時金の追加、療養給付費等交付金の精算、高額療養費特別支給金並びに出産育児一時金繰入金精算による追加、予備費5729万余円の追加は歳入歳出予算調整によるもので、歳入歳出それぞれ7225万8千円を追加し、歳入歳出総額をそれぞれ63億857万円とするもの。

◎平成21年度福生市老人保健医療特別会計補正予算（第1号）

平成20年度分の老人医療費の確定に伴い、歳入では繰越金の追加、歳出では諸支出金の償還金及び一般会計への繰出金の追加をして、それぞれ既に受け入れている収入額と、医療費の確定による実績額との過不足の精算を行うもので、歳入歳出予算にそれぞれ1673万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2388万7千円と定めようとするもの。

▽平成21年度福生市介護保険特別会計補正予算（第1号）

平成20年度分の介護給付費等の確定に伴い、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、都支出金及び一般会計からの繰入金などの収入済額を精算し、実績額と過不足額との精算を行うもので、歳入歳出予算にそれぞれ7539万4千円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ29億5252万6千円と定めるもの。

◎平成21年度福生市下水道事業会計補正予算（第1号）

歳入では平成20年度決算に基づく繰越金の減額、歳出では工事費入札差金の減額及び起債利子償還費の確定に伴う公債費の減額をするもので、歳入歳出予算それぞれから1392万9千円を減額し、歳入歳出予算総額をそれぞれ15億4857万3千円と定めるもの。

◎市道路線の廃止について

福生市大字熊川字武蔵野1398番地7先に位置し、幅員2・12メートル、延長18・21メートル、面積38・6平方メートルの市道第100号線は、一般の交通の用に供されていないので、道路として管理する必要がなくなったため廃止するもので、また、この路線に隣接している2所有者が払い下げを希望しているため廃道にするもの。

◎福生市教育委員会委員の任命について

加藤美子氏を任命したいので同意を求めるもの。

◎福生市固定資産評価審査委員会委員の選任について

佐藤正明氏を選任したいので同意を求めるもの。

討論

◆平成21年度福生市介護保険特別会計補正予算（第1号）

■反対

時間単価減少により介護事業者の経営は深刻で、3月に市内の一事業者が廃業し、サービス低下が懸念される中での市行政の無策は非難されるべきである。また特段の手も打たず国都支出金に返還金を生じさせており、反対する。

◆平成20年度福生市一般会計決算認定について

■賛成

世界的な経済危機を色濃くした1年であったが、まずは行財政改革の一層の推進、各種収納率アップを図りつつ議員、市民とともに「夢のあるまち福生」の根幹をなす財政健全化により一層努めていただくことを要望して賛成する。

■賛成

前市長の後年度負担を極力抑えたいとの意を受け、収納率改善や経費削減にも努力されたと評価しているが、各款にわたる多くの指摘事項を十分吟味し、次年度予算編成に生かしていただくことを要望して賛成する。

■賛成

市民との協働のまちづくりに向けた市民重視の施策や、地方分権推進の考えも表明されており、財政的に厳しい時代ではあるが、21世紀を見すえた姿が見られ、国体などの行事に真摯に取り組む行政体制を評価して賛成する。

■反対

決算の基本が国の施策に沿った住民いじめのものであり、市民へのやさしい行政なくして将来展望を語ることはできない。職員の多大な工夫努力は認められるが、市民の立場からは容認できるものではないので、反対する。

◆平成20年度福生市国民健康保険特別会計決算認定について

■賛成

制度改正の周知では多少行き届かない点もあったが、特定健診、特定保健指導の受診率向上、保険税の収納率向上、健康ふっさ21の目標達成への努力、繰入金のバランスも考慮し、健全運営と市民の理解も期待して賛成する。

■反対

10月1日から65歳以上75歳未満の方の国民健康保険税が年金天引きされるが、周知徹底期間が短く、税制民主主義に反している。また非人道的な差別政策である後期高齢者医療制度の支援金などの計上も含まれており、反対する。

◆平成20年度福生市介護保険特別会計決算認定について

■反対

時間単価減少で介護事業者の継続が社会的問題となり、若干の制度変更が行われたが、3月には市内の一事業者が廃業し、利用者へのサービス低下が懸念される中での市行政の無策は非難されるべきであり、反対する。

◆平成20年度福生市後期高齢者医療特別会計決算認定について

■反対

保険料は医療費の増加と人口増により値上げされるので、基本的には年金天引きのため受け取る年金額が減少し続けることとなる。このような非人道的な差別医療政策は即時中止、撤回すべきという立場であり、反対する。

◆福生市議会議場に日の丸の掲揚をしないことを求める陳情書

■賛成

市議会は多様な意見が交わされるべき場で、陳情要旨にある「さまざまな市民の意見を表明する場としての福生市議会議場に日の丸の掲揚はふさわしくない」との意見に賛意を表明し、本日採択されることを求めるものである。

■賛成

議場に日の丸がなくても重要な決定をしてきた議会であり、これからも必要ないと考えており、どうしてもここに日の丸を掲揚しなくては困るとする理由が見つからないので、今回の陳情に賛成して採択を求めるものである。